

うだ

Vol.7

編集：山口 麻那

オーガニック通信

目次

- ① 日本政策金融公庫に聞く
「就農三年目の資金調達」
- ② 宇陀小農のための直売所活用術
ー近鉄百貨店上本町店
- ③ さんとこマルシェ開催予告
- ④ ひとり農業の壁をこえて第三回 福角毅氏
- ⑤ 宇陀農業未来会議2026開催フォーラム内容

フェス実行委員会が
企画メイキングを
no+eで発信！



Instagramで
宇陀オーガニック
発信中！



食べて、知って、語り合う！
宇陀の農業の「これから」

宇陀オーガニック ビレッジフェス 2026

開催：11月22日(日) 10:00～18:00 まで！

場所：類農園 Vutai(ヴタイ)

【宇陀農業の未来の担手を徹底討論】

フォーラム1：若手xベテランが語る

「宇陀での就農とリアルな経営」

●プロ農家激推し！ 秋野菜の「大試食会」

●宇陀テロワールを満喫♪ 食のマルシェ

① 日本政策金融公庫に聞く 「就農三年目の資金調達」

あらすじ

安定した経営を維持するための借入額は「月々の返済に負担のない金額かどうか」が目安——公庫職員が答える就農3年目からの借入の組み立て方と、夢と冷静さの両立という視点

就農三年目を迎え、設備更新や運転資金の必要性を感じ始めた農家に向けて、日本政策金融公庫奈良支店の甲斐俊輔氏に融資の考え方を伺いました。

安定した経営を維持するための借入額は「十年

(広報担当 ハンサムガーデン 窪一)

② 宇陀小農のための販路活用術 ー近鉄百貨店上本町店

(ハンサムガーデン学生インターン) 田村 知絵子

小規模農家は出荷量や品質の安定性、販売価格の面で販路拡大が難しいとされています。そのため、少量から出荷でき、営業力に頼らず販売できる産直系直売所は、新規就農農家にとって有効な販路となります。

今回はこういった直売所の一つである近鉄百貨店上本町店の売り場責任者の山口氏と店長の村尾氏に取材を行いました。

で無理なく返せる金額」が基本の目安で、税引後利益と減価償却費を足した額を返済原資として考える。売上規模と自己資金の考え方、青年等就農資金(最長十七年・全期間無利子)の仕組みや補助金との併用の注意点、より保守的に組み立てるべき収支計画の立てかた。有機栽培特有の販路の重要性、そして返済が厳しくなった際の相談・見直しの仕組みまで、融資申込する立場からすると聞きづらい点を担当者にぐいっと踏みこんでみた。そこには経営の「見える化」を軸に実践的なアドバイスがいっぱいありました！

(注) インタビューの個人的見解が含まれており、日本政策金融公庫の公式見解ではありません



続きはこちら

価格よりも野菜の質や生産者のこだわりを重視する消費者が集まる、近鉄百貨店上本町店の直売店。開設からわずか半年で、売り場の客数増加にも大きく貢献しています。

なにがここまで生活者の心をつかんでいるのでしょうか。本記事では、朝採れ野菜を待ちわびる常連客の姿や、店頭での販売の工夫に迫ります。さらに、農家が自らの商品の魅力を伝え、売り上げにつなげるためのヒントも紹介します。栽培技術だけでなく、情報発信やマーケティングの重要性を考えるきっかけとなっています。

続きはこちら



③さんとこマルシェ 開催予告

田尻 恵士
(サムズアップ農園)

うだ産フェスタにて「さんとこマルシェ」を開催いたします。

私たち農家が自慢の一品を持ち寄り、花菜や蜂蜜、野菜など多くの産物が揃います。皆さんに我々の農産物を直接手に取っていただける素晴らしい機会となりますので、ぜひうだ産フェスタへお越しください。



★うだ産フェスタ開催
10/31(土)、11/1(日)
10:00~15:00
宇陀市総合体育館
及び周辺

続きはこちら



★お知らせ★
来たる十一月フェス当日は「大試食会」を行います！
私たち農家が日頃、畑や自宅のキッチンで、「こつやつて食べたら一番美味しい」と実感している、シンプルだからこそ一番贅沢な食べ方で提供します。生でかじったときの弾けるようなみずみずしさ、サツと火を通したときの甘みと香りの広がり。普段私たちが味わっている「採れたて・最高の食べ方」をぜひご体験ください。

うだオーガニックビレッジフェス実行委員会事務局
〒633-0292
奈良県宇陀市榛原下井足17-3 宇陀市役所2階
宇陀市農林課 オーガニックビレッジ推進室内
オーガニック通信編集部
nourin@city.uda.lg.jp

④ひとり農業の壁をこえて

田村 知絵子
(ハンサムガーデン学生インターン)

あらすじ

第三回 福角毅さま (株式会社福角兄弟農園)

この取材シリーズは、一人での農業経営に限界を感じて組織化を進めた農家へお話を伺い、次世代の農家がチーム営業で成功するためのヒントを得ることが目的で行っております。

第三回のインタビューでは、奈良県宇陀市の株式会社福角兄弟農園、福角毅社長が受けてくださいました。就農当時、以前に働いていた有名チェーン店で学んだ効率化の仕組みを農業に活かせる

いかと考え、二十四歳のときに祖父のもとで野菜づくりを学び始めます。二〇一六年に農業法人化を経て、二〇一九年からは腸内環境の改善や糖尿病への効果が期待される「紫菊芋」の栽培を本格的に始められました。現在も多くの方から感謝の声が届けられています。

温暖化や超高齢化社会など、目まぐるしく変化する時代に対応すべく栽培を始めた紫菊芋。法人化後には経営の危機に直面されますが、信頼できる仲間づくりによって乗り越えられた福角社長。そんな福角社長を支えてきた考え方や、困難な状況でも前へ進み続ける姿勢について教えていただきました。

続きはこちら



⑤宇陀農業未来会議2026 開催フォーラム内容

宇陀オーガニックビレッジフェス

同時開催◎宇陀農業未来会議2026

【日時】二〇二六年十一月二十二日(日)

【場所】農と学びの共創拠点VUTAI

(宇陀市)

うだオーガニックビレッジフェス実行委員会(宇陀市)は、宇陀農業の現在地とこれからを考えるイベント「宇陀オーガニックビレッジフェス2026」を開催します。本フェスでは、「宇陀農業未来会議2026」を中心に、イベント&フォーラム

本編はこちら↓



宇陀オーガニック
ビレッジフェス2026
11月22日(日)開催!

フォーラム詳細はこちら↓

11月22日同時開催



が開催されます。フォーラムには、第一部と第二部のみ、自由にどなたでもご参加いただけます。

【フォーラムの概要】テーマは「農業の担い手」です。昨年の「ワンデーカレッジ」から発展し、市内の様々な立場のプレーヤーがお互いの状況を理解し、宇陀農業のこれからについて意見を交わす場です。創成期を牽引した市内法人に加えて、個人農家を含む生産者全体で盛り上げていく基盤をつくる会にしたいと考えています。